

八峰町の社会教育施設等（一部抜粋）

施設名	連絡先
八峰町文化交流センター（ファガス）	TEL77-3700 FAX74-5290
八峰町文化ホール（ファガス併設）	TEL77-3700 FAX74-5290
峰浜地区文化交流センター（峰栄館）	TEL76-2323 FAX76-2387
あきた白神体験センター	TEL77-4455 FAX77-4456
峰浜野球場	TEL76-2323（窓口：峰栄館）
御所の台野球場	TEL77-3700（窓口：ファガス）
峰浜地区ゲートボール場	TEL76-2323（窓口：峰栄館）
峰浜土床体育館	TEL76-2323（窓口：峰栄館）
八森土床体育館	TEL77-3700（窓口：ファガス）
八森体育館（旧八森中学校体育館）	TEL77-3700（窓口：ファガス）

第4次八峰町社会教育中期計画策定委員名簿

策定委員会

No.	氏名	役職
1	斎藤 猛 満	八峰町社会教育委員の会議 校長会
2	金 平 喜美仁	〃 P T A連合会
3	鈴木 久 明	〃 体育協会
4	岡 田 正 子	〃 連合婦人会
5	小 沢 重 博	〃 成年
6	木 藤 雄 介	〃 学識経験者
7	山 内 美 春	〃 家庭教育
8	大 高 孝 雄	〃 委員長 社会教育

策定委員会部会（上記の策定委員含む）

No.	氏名	役職
1	三 浦 栄 悦	青少年育成八峰町民会議 会長
2	山 本 百合子	八峰町生涯学習奨励員協議会 会長
3	小 沢 悟	八峰町芸術文化協会 会長
4	工 藤 哲 弥	八峰町文化財保護審議会 副会長
5	佐々木 正 憲	八峰町文化財保護協会 会長
6	山 本 太 志	八峰町スポーツ推進委員の会 委員長
7	伊 勢 均	八峰町体育協会 副会長
8	山 内 章	あきた白神体験センター 所長
9	武 田 佳代子	子育て支援センターあいあい 課長補佐

アドバイザー

No.	氏名	役職
1	秋田谷 大 作	北教育事務所山本出張所 社会教育主事



令和3年度～7年度
第4次八峰町社会教育中期計画

ダイジェスト版

基本目標

「彩り豊かな文化とふるさとをささえる人づくり」

社会教育計画とは、生涯学習の理念（※1）の実現を目指し、社会教育（※2）に関する施策を体系的かつ計画的に推進するために策定するものです。

八峰町教育委員会では、第4次八峰町社会教育中期計画を策定し、5つの基本方針を施策の展開の柱として位置づけて社会教育活動を推進します。

なお、本計画は八峰町総合振興計画を上位計画とする計画で、期間は令和3年度から7年度までの5年間とします。

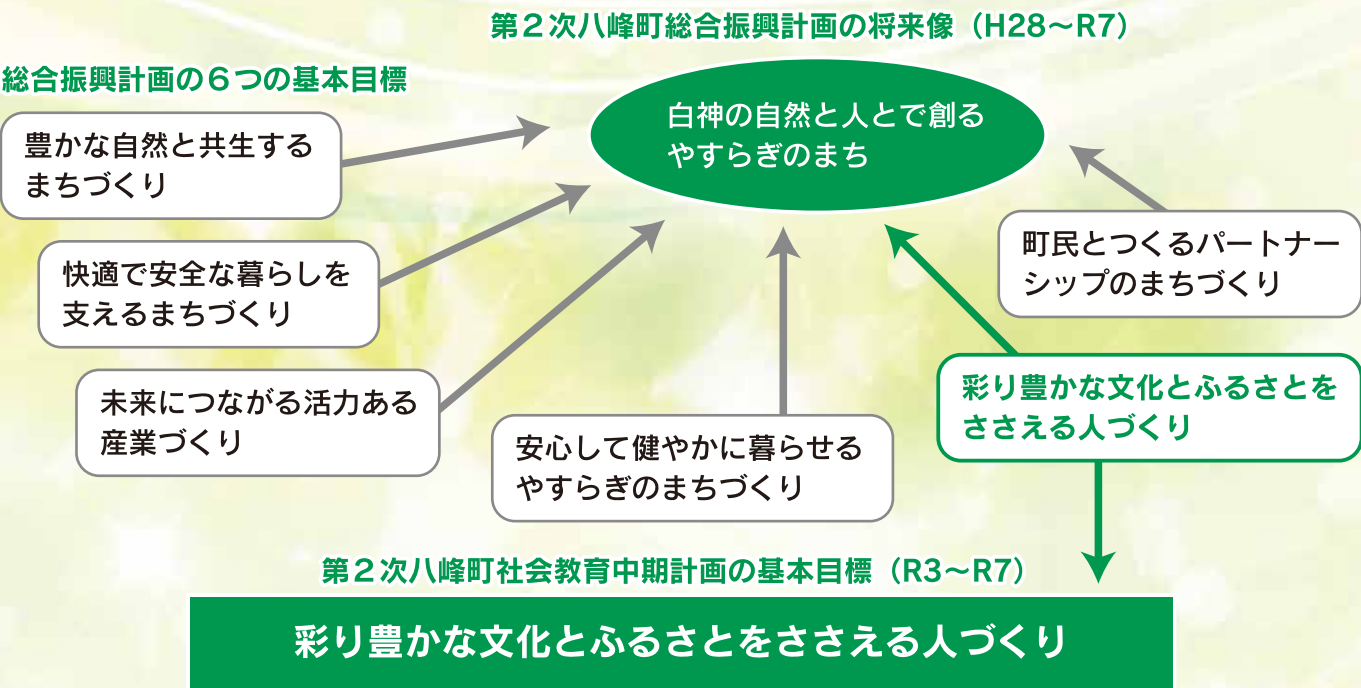
※1 生涯学習の理念

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。（教育基本法第3条）

※2 社会教育

社会教育法では、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）と定義している。

目標・基本方針・施策の体系説明図



5つの施策の展開（基本方針）	具体的な施策	施策の成果目標
I 家庭教育の充実	①～⑥	a
II 社会教育の充実	①～⑮	a～d
III 生涯学習の促進	①～⑨	a～b
IV 芸術・文化活動の振興と伝統文化・芸能の保存と継承	①～⑰	a～c
V スポーツ・レクリエーション活動の充実	①～⑮	a～c

計画の推進にあたっては、町はもとより住民、学校、家庭、地域、団体、企業等が連携、協力しながら取り組みます。

【具体的な施策】

Ⅰ 家庭教育の充実	① 家庭教育に関する情報提供、啓発活動、親子参画行事等を行います。
	② 放課後子ども教室等を実施します。
	③ 青少年育成町民会議等の活動を支援します。
	④ 地域未来塾を実施します。
	⑤ 家庭、学校、ＰＴＡ、関係団体等の連携・協力によりインターネットの適正利用の啓発等を行います。
	⑥ ファガス、峰栄館の育児コーナーの充実とＰＲを図ります。

Ⅱ 社会教育の充実	① ファガス、峰栄館を適切に維持管理し、必要に応じ改修事業を行います。
	② あきた白神体験センター等の施設の充実を図ります。
	③ 学校施設の開放と利用促進を図ります。
	④ 図書購入や図書システムの充実を図るとともに、司書を活用して町民の読書活動を支援します。
	⑤ 地域課題に対応した図書室を推進します。
	⑥ 移動図書館車の効果的な運用を図ります。
	⑦ 日沼頼夫文庫の利用促進を図ります。
	⑧ 子ども司書の養成や利用者拡充のための図書イベント等に取り組みます。
	⑨ 地域学校協働活動の充実を図ります。
	⑩ 放課後子ども教室の充実を図ります。
	⑪ あきた白神体験センター等を活用した自然体験活動を推進します。
	⑫ ふるさと学習として白神山地の学習やジオパークの学習等を推進します。
	⑬ さまざまな分野でボランティアとして活動できる高校生を募集し、その拡充を図ります。
	⑭ 現在の講座を充実させるとともに、町民の学習ニーズにあった講座を企画、提供します。特に男性の参加が高まるような講座を企画、提供するように努めます。
	⑮ 職員出前講座を充実させます。
	⑯ 町が抱えるさまざまな地域課題に対応した講座を行います。

Ⅲ 生涯学習の促進	① 生涯学習奨励員の活動を支援します。
	② 自主活動グループ等への支援に努めます。
	③ ことぶき大学等の支援を行います。
	④ 自主学習の指導者の発掘、育成を行います。
	⑤ 学習成果を活かす活動や発表の場を開拓します。
	⑥ ボランティア活動の情報提供、相談体制の整備を行います。

Ⅳ 芸術・文化活動の振興と伝統文化・芸能の	① 町民文化祭を開催します。
	② 文化講演会や芸術・文化観賞会等を開催します。
	③ 移動県立美術館を誘致します。
	④ 町芸術文化協会等を支援します。
	⑤ 国際教養大学等との国際文化交流を促進します。
	⑥ 創作太鼓をはじめ、各種団体やグループ等による芸術文化イベントを支援します。
	⑦ あきた白神子ども俳画大会を継続します。
	⑧ 美術大学等との連携・協力により文化資源の発掘や創出・育成に努めます。
	⑨ 郷土芸能の記録・保存に努めるとともに、各団体の後継者育成を後押しします。
	⑩ 石川駒踊り等、現在活動している団体等を支援するとともに、発表の場を充実させます。
	⑪ 町無形文化財、県無形文化財への働きかけを積極的に行います
	⑫ 歴史講演会等への町民の参加を促進するなど、町文化財保護協会の活動を支援します。
	⑬ 関係団体等と連携・協力し、町文化財の保存・活用について検討します。

保存と継承	⑭ 「菅江真澄」古絵図跡地等の整備を継続します。
	⑮ 町および県有形文化財への働きかけを積極的に行います。
	⑯ 史料調査委員会による古文書研究を進めます。
	⑰ 町文化財保護協会等と連携しながら歴史・文化資料の調査研究等を進めます。

Ⅴ スポーツ・レクリエーション活動の充実	① 体育協会及び加盟団体の活動を支援します。
	② スポーツ少年団の組織強化を図り、活動を支援します。
	③ アスリート等を支援できる体制および環境づくりを推進します。
	④ 各種スポーツ研修等に人材を派遣し、リーダー及び指導者の育成に努めます。
	⑤ スポーツ少年団の研修参加等を支援し、指導者の確保に努めます。
	⑥ 各種スポーツ大会やスポーツ教室を開催するとともに、スポーツ団体等の大会を支援します。
	⑦ 総合型地域スポーツクラブ等を支援し、生涯スポーツの普及等を図ります。
	⑧ スポーツ推進委員等によるスポーツの普及、指導に努めます。
	⑨ 住民ニーズに応じたニュースポーツの導入を検討します。
	⑩ 高齢者スポーツの普及拡充に努めます。
	⑪ スポーツによる健康づくり講座の普及拡充に努めます。
	⑫ スポーツイベント「チャレンジデー」の参加を支援し、スポーツを通した町づくりを推進します。
	⑬ 既存スポーツ施設の維持管理について、整備計画を立て、適正に実施します。
	⑭ 学校体育施設等の開放により、生涯スポーツの普及に努めます。
	⑮ 町内レクリエーション施設の適正な維持管理に努め、町民の健康増進の場とします。

施策の効果を確認し、改善していくため、P（計画）、D（実行）、C（調査・評価）、A（見直し）のPDCAサイクルを有効に活用します。

【成果目標】

区分	成果目標	H28	総合振興後期 計画策定時(R2)	R7目標
Ⅰ	a 地域未来塾の受講者率	90%	93%	90%

区分	成果目標	総合振興前期 計画策定時(H27)	総合振興後期 計画策定時(R2)	R7目標
Ⅱ	a 地域課題に向けた研修・講座数	0講座	2講座	4講座
	b ファガス、峰栄館年間利用者数	18,225人(H26)	24,230人(R1)	17,000人
	c 町民一人当たり年間貸出冊数	2.28冊(H26)	3.8冊(R1)	3.5冊
	d 高校生ボランティア数	1人(H26)	17(R1)	10人

区分	成果目標	総合振興前期 計画策定時(H27)	総合振興後期 計画策定時(R2)	R7目標
Ⅲ	a 生涯学習奨励員数	17人	19人	20人
	b 公民館講座参加者数	162人(H26)	161人(R1)	155人

区分	成果目標	総合振興前期 計画策定時(H27)	総合振興後期 計画策定時(R2)	R7目標
Ⅳ	a 文化祭出展作品数	1,787点	1,270点	1,380点
	b 文化祭芸能発表者数	171人	165人	160人
	c 歴史講演会等参加者数	22人	80人	30人

区分	成果目標	総合振興前期 計画策定時(H27)	総合振興後期 計画策定時(R2)	R7目標
Ⅴ	a チャレンジデー参加率（%）	65.9%	－	70%
	b スポーツ少年団加入率（%）	86%	48%	60%
	c 全国レベルで活躍するアスリート輩出者数	0人	2人	3人

